

令和5年度全国高等学校総合体育大会

登山大会

第67回全国高等学校登山大会

記録報告書

車
が
せ
魂
の
鼓
動
北
の
大
地
へ
大
空
へ



翔び立て若き翼
北海道総体2023

令和5年8月7日(月)～11日(金)
大雪山系 黒岳 北鎮岳 旭岳
十勝岳連峰 十勝岳
東川町民運動公園
旭川市民文化会館

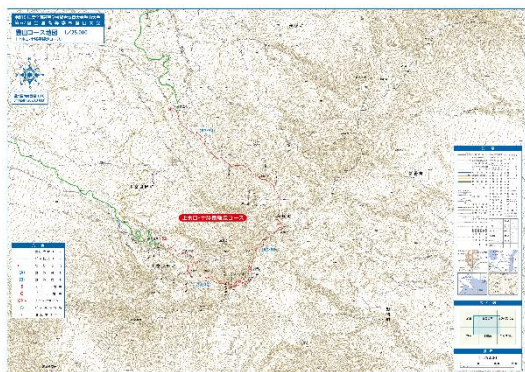
- 【主催】(公財)全国高等学校体育連盟(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会 北海道 北海道教育委員会 東川町 上川町 美瑛町 上富良野町 東川町教育委員会 上川町教育委員会 美瑛町教育委員会 上富良野町教育委員会
- 【共催】読売新聞社
- 【後援】スポーツ庁(公財)日本スポーツ協会 NHK(公財)北海道スポーツ協会 東川町スポーツ協会 上川町体育協会 美瑛町スポーツ協会 上富良野町スポーツ協会
- 【主管】(公財)全国高等学校体育連盟登山専門部 北海道高等学校体育連盟 北海道山岳連盟
- 【特別協賛】大塚製薬
- 【協賛】JTB マイナビ KDDI カンコー学生服



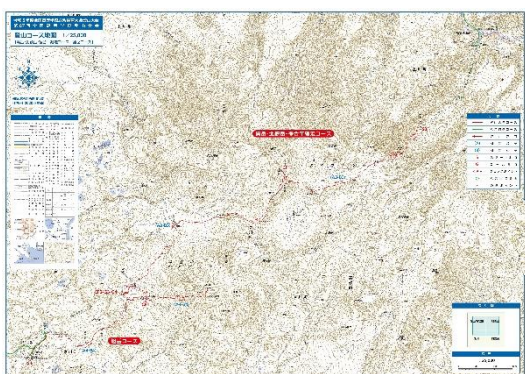
第67回全国高等学校登山大会 北海道大会

【事前準備】

・登山コース地図 十勝岳連峰 1/25,000



・登山コース地図 大雪山系 1/25,000



・諸会議



・横断幕 大雪山層雲峡ロープウェー



・大会案内ボード 東川町 B&G 海洋センター



・大会案内看板 吹上温泉分岐



・インタビューボード 開閉会式場



【開会式】

・アトラクション 旭川東高等学校音楽部



・登山隊紹介



・選手団紹介



・受付打合せ



・優勝杯返還



・コース隊編成



・選手宣誓



・交流会



【幕营地】

・幕营地全景



・引継式 午後



・引継式 早朝



・設営審査



・大雨による水没 8月8日



・緊急避難所 東川高等学校



・出発



・朝焼けの旭岳



【登山行動】

・旗手



・8月8日 上富良野岳～上木口 十勝岳温泉

・8月8日 上富良野岳～上木口 上木口へ



・8月8日 上富良野岳～上木口 後ろに富良野岳



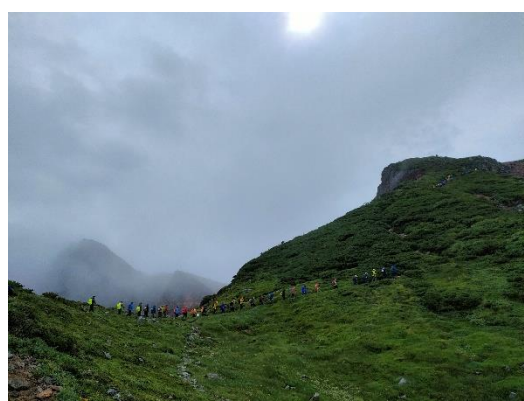
・8月8日 上富良野岳～上木口 安政火口



・8月8日 上富良野岳～上木口 上富良野岳直下



・8月8日 上富良野岳～上木口 三百階段



・8月8日 上富良野岳～上木口 上富良野岳



・8月9日 黒岳～北鎮岳 奥に黒岳



・8月9日 黒岳～北鎮岳 まねき岩



・8月9日 黒岳～北鎮岳 チシマクモマグサ



・8月9日 黒岳～北鎮岳 黒岳 CP0



・8月9日 黒岳～北鎮岳 チーム行動スタート



・8月9日 黒岳～北鎮岳 黒岳石室へ



・8月9日 黒岳～北鎮岳 黒岳石室へ



・8月9日 黒岳～北鎮岳 支援隊 黒岳石室にて



・8月9日 黒岳～北鎮岳 黒岳にて監督隊



・8月9日 黒岳～北鎮岳 御鉢平



・8月9日 黒岳～北鎮岳 雲の平



・8月9日 黒岳～北鎮岳 北鎮分岐直下



・8月9日 黒岳～北鎮岳 中岳へ



・8月9日 黒岳～北鎮岳 中岳分岐から裾合平



・8月9日 黒岳～北鎮岳 中岳温泉足湯



・8月9日 黒岳～北鎮岳 専門委員長隊の激励



・8月10日 旭岳 四合目



・8月10日 旭岳 旗手スタート



・8月10日 旭岳 姿見の池へ



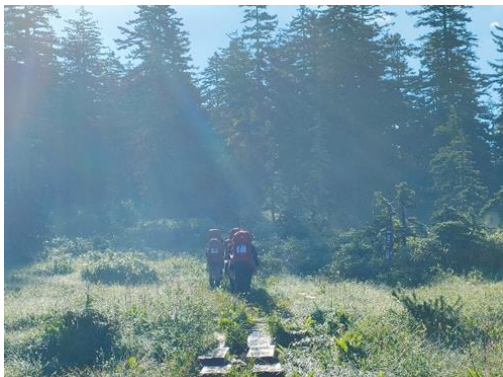
・8月10日 旭岳 登山口で激励



・8月10日 旭岳 姿見の池 激励



・8月10日 旭岳 天女ヶ原



・8月10日 旭岳 姿見の池から旭岳



・8月10日 旭岳 姿見の池 CP1



・8月10日 旭岳 姿見の池と旭岳石室



・8月10日 旭岳 金庫岩

・8月10日 旭岳 山頂へ



・8月10日 旭岳 旭岳山頂にて





・8月10日 解団式

・おもてなし



2. 日程およびコース

8月 5日(土)諸会議(全国常任委員会ほか)

8月 6日(日)受付・諸会議(全国専門委員長会議、監督リーダー会議ほか)

8月10日(木)審査委員会、全国常任委員会、中央総務委員会

		A隊(団体男子)	B隊(団体女子)
8 月 7 日	開会式	旭川市民文化会館	
	審査	旭川市民文化会館(天気図・自然・気象・救急)	
	移動	開会式会場＝幕営地	
	幕営地	東川町民運動公園	東川町民運動公園
8 月 8 日	上木口 十勝岳 縦走 コース	幕営地＝十勝岳温泉登山口－上 富良野岳－上木口ツク山－上木口 避難小屋－十勝岳－十勝岳避難 小屋－望岳台＝幕営地 (終日班行動)	A隊に同じ
	幕営地	東川町民運動公園	東川町民運動公園
8 月 9 日	黒岳 北鎮岳 裾合平 縦走 コース	幕営地＝層雲峡駅→黒岳駅→黒 岳七合目登山口…黒岳…黒岳石 室…北鎮岳…中岳温泉…裾合分 岐…姿見駅→旭岳駅＝幕営地 (班行動・黒岳よりチーム行動)	A隊に同じ
	幕営地	東川町民運動公園	東川町民運動公園
8 月 10 日	旭岳 コース	幕営地＝東川町旭岳青少年野営 場横広場－姿見の池－旭岳－姿 見駅→旭岳駅＝幕営地(解団式) ＝各宿舎 (チーム行動・姿見の池より班行 動・旭岳よりパーティー行動)	A隊に同じ
	宿泊地	各校宿舎	
8 月 11 日	移動	宿舎 閉会式会場	
	閉会式	旭川市民文化会館	

凡例：＝バス輸送 →ロープウェイ、リフト ―登山行動(メインザック行動)

…登山行動(サブザック行動)

3. 式典次第

開会式 8月7日(月) 旭川市民文化会館大ホール

- 1 受付 8:45 ~ 9:30
 2 入場 9:30 ~ 9:40
 3 アトラクション 9:40 ~ 9:55 (北海道旭川東高等学校音楽部)
 4 開会式次第 10:00 ~ 11:00

時刻	次第	内 容	備 考
10:00	開式通告		アナウンス ファンファーレ
10:01	選手団紹介	答礼 大会委員長(公財)全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明	アナウンス 行進用音楽
10:25	開会宣言	大会副委員長(公財)全国高等学校体育連盟登山専門部副部長 玉垣光伺朗	ファンファーレ
10:27	国旗掲揚	国歌演奏とともに国旗に注目	国歌
10:30	諸旗掲揚	「高体連の歌」演奏とともに諸旗に注目	高体連の歌
10:35	優勝杯返還 レプリカ授与	大会委員長 (公財) 全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明	得賞歌
10:40	あいさつ	大会委員長 (公財) 全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明 大会名誉会長 (公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会会長 丸 誠一郎	
10:45 10:50	歓迎の言葉	登山競技実行委員会会長 北海道教育庁上川教育局長 岸本 亮 開催地生徒代表 北海道東川高等学校 桑原 未夢 開催地生徒代表 北海道上川高等学校 井口 詩教 開催地生徒代表 北海道美瑛高等学校 山家 琉佳 開催地代表生徒 北海道上富良野高等学校 佐藤 知優	
10:55	来賓紹介		アナウンス
10:57	選手宣誓	選手代表 北海道旭川東高等学校 向井 和玖 選手代表 北海道旭川東高等学校 土門ひより	ファンファーレ
10:59	閉式通告		アナウンス

5 登山隊編成 11:00~11:15

時刻	次 第	登 壇 者
11:00	登山隊長・審査員長紹介	競技委員長 本多 滋明
11:02	コース隊長・自衛隊協力隊長紹介	登山隊長 内海 健一
11:03	審査員紹介・行動予定等の説明	審査員長 松本 至巨
11:13	諸連絡	総務委員長 細野 護

6 審査 11:30~12:15 (12:15~昼食)

審 査	審 査 場 所	集 合	審査開始	審査終了
自然観察テスト	旭川市民文化会館大ホール	11:30	11:35	11:55
救急知識テスト				
気象知識テスト				
天気図作成	旭川市民文化会館大会議室	11:30	11:35	12:15

7 コース隊編成・バス乗車・移動 コース隊編成 旭川市民文化会館内

13:00~

8 諸注意

- (1) 開会式会場への移動は、チーム毎にお越しく下さい。車両持ち込みのチームは、監督のみ車で東川町民運動公園まで移動し、指定場所に駐車をお願いします。開会式中の駐車については、旭橋下流左岸駐車場(9:00~無料)か周辺の有料駐車場をご利用ください。
- (2) 選手は、登山大会の服装(ユニフォーム)で参加してください。(靴は外靴(登山靴)のままで結構です。)監督は、選手に準じた服装で参加してください。
- (3) ザックは会場の指定場所(A隊2階ホワイエ、B隊1階ホワイエ)へチーム毎に置いてください。
- (4) 選手・監督の受付は、代表者が行ってください。

閉会式 8月11日(金) 旭川市民文化会館大ホール

1 受付・入場 8:45～ 9:45

2 閉会式次第 10:00～11:10

時刻	次 第	内 容	備 考
10:00	開式通告		アナウンス
10:01	講評・成績発表	審査員長 松本 至巨	アナウンス
10:20	賞状授与 会長杯授与 メダル授与 文部科学大臣杯 NHK盾 読売新聞社杯授与	① 賞状 (A・B隊それぞれの優勝～6位の各校) 授与者 ② 全国高体連会長杯 (優勝校) 授与者 大会委員長 (公財)全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明 ③ メダル (A・B隊それぞれの優勝～3位の各校) 授与者 優勝 北海道高等学校体育連盟登山専門部長 稲津 誠 2位 (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会会長 丸 誠一郎 3位 北海道山岳連盟名誉会長 小野 倫夫 ④ 賞状・杯・杯 (A・B隊それぞれ優勝校) 授与者 ・文部科学大臣杯 登山競技実行委員会会長 岸本 亮 ・NHK盾 NHK旭川放送局 局長 茂田 喜郎 ・読売新聞社杯 登山競技実行委員会会長 岸本 亮	得賞歌
10:40	あいさつ	大会委員長 (公財)全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明 登山競技実行委員会会長 北海道教育庁上川教育局長 岸本 亮	
10:50	国旗・諸旗降納	国歌・高体連の歌演奏	
10:53	国旗・諸旗引継	国 旗 登山競技実行委員会会長→ 添田町実行委員会 高瀬 光一 全国高体連旗 北海道選手代表 → 福岡県選手代表 中村 理乃 登山大会旗 北海道登山隊長 → 福岡県登山隊長 石田 康治 各コース隊旗 北海道A隊コース隊長 → 福岡県A隊コース隊長 平野 憲崇 北海道B隊コース隊長 → 福岡県B隊コース隊長 嶺 善晴	高体連の歌
11:00	次期開催県挨拶	福岡県代表者 添田町実行委員会添田町教育長 高瀬 光一	
11:05	閉会宣言	大会副委員長 北海道高等学校体育連盟登山専門部長 稲津 誠	アナウンス
11:08	閉式通告		アナウンス

3 感謝状贈呈式・諸連絡 11:10～11:20

時刻	次 第	内 容	備 考
11:10	感謝状贈呈	① 登山競技実行委員会会長 北海道教育庁上川教育局長 岸本 亮 様 ② 東川町長 菊地 伸 様 ③ 上川町長 佐藤 芳治 様 ④ 美瑛町長 角和 浩幸 様 ⑤ 上富良野町長 斉藤 繁 様 ⑥ 陸上自衛隊 第2特科連隊 (旭川駐屯地) 第5大隊長 西村 朋泰 様 ⑦ 陸上自衛隊 第4特科群 (上富良野駐屯地) 第1科長 苦瀬 康行 様 ⑧ 国土地理院北海道地方測量部 部長 仲井 博之 様 ⑨ 香川県高等学校体育連盟登山専門部 白川 直美 様 ⑩ 第66回全国高等学校登山大会登山隊長 西村 真也 様 贈呈者 大会委員長(公財)全国高等学校体育連盟登山専門部長 本多 滋明他	
11:15 11:16	来賓退場 諸連絡	大会事務局より各都道府県の監督 (代表1名) へ ①「大会成績一覧表」の配布、 ②各都道府県高体連旗の返却	アナウンス

4 会場撤収 11:30～

5 諸注意

- (1) 閉会式会場への移動は、チーム毎にお越しく下さい。車両持ち込みのチームは、旭橋下流左岸駐車場 (9:00～無料) か周辺の有料駐車場をご利用ください。
- (2) 選手・監督は、登山大会の服装 (ユニフォーム)、屋外用シューズで参加してください。
屋外用の靴はスニーカー等でも構いません。なお選手・監督の受付は、代表者が行ってください。
- (3) ザックは会場の指定場所へチーム毎に置いてください。(車両持ち込みの場合、ザックは不要です。)
- (4) 弁当を注文しているパーティーは、11:45までに1階ホワイエにて、代表者が受け取ってください。
- (5) インタビューボードを2階ホワイエに2ヶ所設置していますので、記念撮影にご利用ください。
- (6) 売店が13:00まで営業しています。今回の開催自治体、インターハイのお土産などお買い求めください。

5. 都道府県別別出場校一覧

番号	都道府県	A 隊 (団体男子)		B 隊 (団体女子)	
		学校名	監督名	学校名	監督名
1	北海道	北海道旭川東高等学校	中川 清文	北海道旭川東高等学校	上口 徹也
2	青森県	青森県立八戸高等学校	鳴海 暁	青森県立八戸高等学校	吉田 直正
3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	廣瀬 謙三	岩手県立盛岡第一高等学校	佐藤 幸久
4	宮城県	宮城県吉川高等学校 (出場辞退)		宮城県仙台三桜高等学校	池田 秀樹
5	秋田県	秋田県立秋田高等学校	菊地 文雄	秋田県立秋田高等学校	西村 航平
6	山形県	山形県立酒田東高等学校	樋口 駿	山形県立山形西高等学校	亀井 昌彦
7	福島県	福島県立福島東高等学校	馬場 淳平	福島県立磐城高等学校	船橋 洋行
8	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	三宅 正隆	茨城県立水戸第一高等学校	青木 秀則
9	栃木県	栃木県立大田原高等学校	高梨 和幸		
10	群馬県	群馬県立前橋高等学校	手島 直樹	群馬県立高崎女子高等学校	滝口 諄人
11	埼玉県	埼玉県立狭山工業高等学校	橋本 広大	埼玉県立和光国際高等学校	瀧嶋 明康
12	千葉県	千葉県立千葉高等学校	清水 孝高	千葉県立千葉東高等学校	眞田 武彦
13	東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	増山 秀樹	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	竹林 和彦
14	神奈川県	神奈川県立平塚中等教育学校	伊藤 伸也	神奈川県立麻溝台高等学校	高田 雅文
15	山梨県	山梨県立北杜高等学校	小野 勝仁	山梨県立韮崎高等学校	小田 雄仁
16	新潟県	新潟県立長岡高等学校	二挺木貴幸	新潟県立長岡高等学校	市村 善也
17	長野県	長野県屋代高等学校	三石 達也	長野県松本県ヶ丘高等学校	金澤 大典
18	富山県	富山県立富山高等学校	圓山 圭	富山県立富山高等学校	加藤 桂子
19	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	藤澤 友大	石川県立金沢二水高等学校	川上洋次郎
20	福井県	福井県立武生高等学校	林 昭彦	福井県立武生高等学校	明石 英章
21	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	玉城 大梧	静岡県立富士高等学校	諸戸 明
22	愛知県	豊川高等学校	佐橋 秀男	愛知県立岡崎高等学校	小島 洋平
23	三重県	三重県立神戸高等学校	西 和典	三重県立神戸高等学校	岸田 誠司
24	岐阜県				
25	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	笠谷 竜太	滋賀県立東大津高等学校	畦崎 光
26	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	山室 浩二	京都府立嵯峨野高等学校	古橋 万葉
27	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	平岡 郁男	常翔啓光学園高等学校	北田 広明
28	兵庫県	兵庫県立柏原高等学校	辻野 彰一	兵庫県立長田高等学校	吉井謙太郎
29	奈良県	奈良県立郡山高等学校	木山 康史	奈良県立高田高等学校	青木秀雅代
30	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	若松 慶樹	和歌山県立田辺高等学校	山本 俊哉
31	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	橋本 隆宏	鳥取県立鳥取西高等学校	前田 孝行
32	島根県	島根県立松江北高等学校	富田 一志	島根県立松江北高等学校	昌子 亮子
33	岡山県	岡山県立岡山操山高等学校	今井 和彦	就実高等学校	妹尾 奈月
34	広島県	学校法人上智学院 広島学院高等学校	下前 知義	ノートルダム清心高等学校	安森 英悟
35	山口県	山口県立防府高等学校 (出場辞退)		山口県立防府高等学校	片岡 泰彦
36	香川県	香川県立丸亀高等学校	白川 直美	香川県立丸亀高等学校	白井 郁絵
37	徳島県	徳島県立つるぎ高等学校	檜 茂広	徳島県立池田高等学校	新久保 諭
38	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	永井 秀樹	愛媛県立松山南高等学校	松下 吉之
39	高知県	高知県立高知追手前高等学校	金岡 展弘	高知県立高知追手前高等学校	石川 律子
40	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	楠田 和宏	福岡県立修猷館高等学校	梶 由紀子
41	佐賀県	佐賀県立鳥栖工業高等学校	土井 優志	佐賀県立唐津東高等学校	宮川 淳
42	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	岩本 勇太	長崎県立長崎北陽台高等学校	小畑 喬晴
43	熊本県	熊本県立熊本北高等学校	井澤 俊樹	熊本県立熊本北高等学校	濱近 大輔
44	大分県	大分県立竹田高等学校	小野 淳貴	大分県立竹田高等学校	高橋 裕昇
45	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	杉田 岳士	宮崎県立宮崎大宮高等学校	猪股 秀一
46	鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	鮫島 修	鹿児島県立加治木高等学校	甲斐 久美
50	北海道	北海道旭川北高等学校	岡崎 知之	北海道旭川北高等学校	富田 一茂

班	県番	都道府県	学校名	行動		生活技術			知識					読図技術	マナー 自然保護	計	順位	備考	
				体力	歩行	装備	設営 撤収	炊事	天気図	課題テスト			計画書						行動記録
										自然	救急	気象							
40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	10.0	5.0	100.0						
A-3	33	岡山県	岡山県立岡山操山高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.8	4.0	3.8	2.0	1.8	10.0	5.0	99.1	1	
A-5	40	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	39.7	10.0	5.0	4.9	5.0	3.9	3.9	3.9	3.8	2.0	1.8	10.0	5.0	98.9	2	
A-5	21	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	40.0	9.6	5.0	5.0	5.0	3.9	3.8	3.9	3.9	1.8	2.0	10.0	5.0	98.9	3	
A-4	10	群馬県	群馬県立前橋高等学校	40.0	9.7	5.0	4.8	5.0	4.0	3.7	3.9	3.8	1.8	2.0	10.0	5.0	98.7	4	
A-6	25	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	40.0	10.0	4.5	5.0	5.0	4.0	4.0	3.9	3.6	1.8	1.8	10.0	5.0	98.6	5	
A-3	3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	4.6	3.9	3.8	3.7	3.9	1.6	2.0	10.0	5.0	98.5	6	
A-1	42	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	40.0	10.0	5.0	4.5	5.0	4.0	4.0	3.8	3.8	1.8	1.6	10.0	5.0	98.5	7	
A-4	34	広島県	広島学院高等学校	39.7	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.9	3.8	3.9	2.0	1.4	10.0	5.0	98.4	8	
A-2	45	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	39.7	10.0	5.0	5.0	5.0	3.6	4.0	4.0	3.7	2.0	1.8	10.0	4.5	98.3	9	
A-1	38	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	40.0	10.0	5.0	4.9	5.0	3.3	3.8	3.9	3.8	2.0	1.4	10.0	5.0	98.1	10	
A-2	41	佐賀県	佐賀県立鳥栖工業高等学校	39.7	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.8	3.3	3.5	2.0	2.0	10.0	5.0	98.0	11	
A-2	1	北海道	北海道旭川東高等学校	40.0	10.0	4.5	4.9	5.0	4.0	4.0	4.0	3.8	2.0	1.6	10.0	4.0	97.8	12	
A-5	6	山形県	山形県立酒田東高等学校	39.1	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.7	3.7	3.7	1.8	2.0	10.0	5.0	97.7	13	
A-4	46	鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	39.7	10.0	4.5	4.6	5.0	4.0	3.6	3.4	3.9	2.0	2.0	10.0	5.0	97.7	13	
A-2	13	東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	39.7	9.6	5.0	5.0	5.0	4.0	3.9	3.5	3.1	2.0	1.8	10.0	5.0	97.6	15	
A-3	26	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	40.0	9.3	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	3.7	3.9	2.0	1.6	9.0	5.0	97.5	16	
A-3	39	高知県	高知県立高知追手前高等学校	39.7	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.9	3.8	3.2	1.8	1.8	9.5	5.0	97.4	17	
A-5	14	神奈川県	神奈川県立平塚中等教育学校	40.0	9.7	4.5	4.6	5.0	3.7	4.0	3.8	3.7	1.6	1.6	10.0	5.0	97.2	18	
A-4	19	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	39.4	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.7	3.7	3.7	1.8	1.6	9.0	5.0	96.6	19	
A-1	22	愛知県	豊川高等学校	39.7	9.7	5.0	4.9	5.0	3.4	3.5	3.7	3.6	1.6	1.6	9.5	5.0	96.2	20	
A-6	8	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	40.0	8.8	5.0	4.8	5.0	3.9	3.8	3.7	3.0	1.8	1.8	9.5	5.0	96.1	21	
A-4	32	島根県	島根県立松江北高等学校	39.4	10.0	5.0	5.0	5.0	3.4	3.4	4.0	3.9	1.8	1.0	9.0	5.0	95.9	22	
A-4	28	兵庫県	兵庫県立柏原高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.3	3.4	2.9	3.2	1.4	1.6	10.0	5.0	95.8	23	
A-2	20	福井県	福井県立武生高等学校	38.9	10.0	4.5	5.0	5.0	3.7	3.6	3.6	3.4	1.6	2.0	9.0	5.0	95.3	24	
A-3	37	徳島県	徳島県立つるぎ高等学校	40.0	10.0	4.0	4.5	5.0	3.8	3.0	3.3	2.8	1.6	1.8	9.5	5.0	94.3	25	
A-2	16	新潟県	新潟県立長岡高等学校	38.0	10.0	4.5	5.0	5.0	3.7	3.6	2.9	3.6	1.2	1.0	9.5	5.0	93.0	26	
A-6	50	北海道	北海道旭川北高等学校	38.8	10.0	4.0	4.8	5.0	3.1	3.7	3.4	3.7	1.4	1.2	9.0	4.5	92.6	27	
A-6	5	秋田県	秋田県立秋田高等学校	39.1	9.3	3.5	4.9	5.0	3.9	3.5	3.2	3.1	1.6	1.0	9.5	5.0	92.6	27	
A-1	15	山梨県	山梨県立北杜高等学校	40.0	10.0	4.0	4.5	5.0	3.5	2.8	3.2	2.2	1.8	0.8	9.5	5.0	92.3	29	
A-3	18	富山県	富山県立富山高等学校	37.2	9.7	4.0	4.8	5.0	3.6	3.4	3.1	3.7	1.8	1.4	9.0	5.0	91.7	30	
A-2	9	栃木県	栃木県立大田原高等学校	38.2	10.0	4.0	4.8	5.0	3.9	2.7	3.1	3.6	1.4	1.2	8.5	4.5	90.9	31	
A-4	12	千葉県	千葉県立千葉高等学校	38.3	9.6	3.5	4.0	4.6	3.3	3.5	3.2	3.9	1.8	1.4	9.0	4.5	90.6	32	
A-4	2	青森県	青森県立八戸高等学校	36.7	9.6	5.0	4.4	5.0	3.2	3.4	3.3	2.7	1.4	1.4	9.5	4.5	90.1	33	
A-6	17	長野県	長野県屋代高等学校	32.7	10.0	5.0	4.8	4.6	3.9	3.7	3.8	3.7	1.8	1.4	9.5	5.0	89.9	34	
A-2	30	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	37.5	9.7	4.0	5.0	4.2	3.6	2.6	3.4	3.5	1.0	1.0	7.5	4.5	87.5	35	
A-1	7	福島県	福島県立福島東高等学校	29.4	10.0	5.0	4.6	5.0	3.5	3.5	3.4	3.2	1.4	1.6	8.0	5.0	83.6	36	
A-5	31	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	29.4	10.0	5.0	5.0	5.0	3.1	3.6	3.0	3.2	1.4	1.4	8.0	5.0	83.1	37	
A-6	44	大分県	大分県立竹田高等学校	33.3	9.3	4.0	5.0	4.6	3.5	2.3	2.5	2.6	1.6	0.8	8.0	5.0	82.5	38	
A-1	29	奈良県	奈良県立郡山高等学校	30.0	10.0	5.0	4.1	4.6	2.6	2.4	3.4	2.5	1.0	0.6	6.9	5.0	78.1	39	
A-6	11	埼玉県	埼玉県立狭山工業高等学校	12.5	5.0	3.0	1.5	3.8	1.9	1.8	2.0	2.1	1.4	0.0	2.0	5.0	42.0	40	
A-3	23	三重県	三重県立神戸高等学校	0.0	0.0	2.0	2.3	5.0	3.7	3.8	3.4	3.4	1.8	0.0	0.0	5.0	30.4		棄権
A-5	27	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	15.0	5.0	3.5	1.9	5.0	3.3	2.8	3.7	3.8	1.2	0.6	5.0	5.0	55.8		棄権
A-5	36	香川県	香川県立丸亀高等学校	30.0	9.6	5.0	4.9	5.0	3.7	3.8	3.9	3.9	2.0	1.6	9.0	5.0	87.4		棄権
A-1	43	熊本県	熊本県立熊本北高等学校	0.0	0.0	1.5	2.5	5.0	2.9	3.4	3.0	3.3	1.6	0.0	0.0	5.0	28.2		棄権
A-3	4	宮城県	宮城県古川高等学校																出場辞退
A-1	35	山口県	山口県立防府高等学校																出場辞退

第67回全国高等学校登山大会

団体女子(B隊) 成績一覧表

[成績順]

班	県番	都道府県	学校名	行動		生活技術			知識					読図技術	マナー 自然保護	計	順位	備考	
				体力	歩行	装備	設営 撤収	炊事	天気図	課題テスト			計画書						行動記録
										自然	救急	気象							
				40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	10.0	5.0	100.0		
B-3	21	静岡県	静岡県立富士高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.9	3.7	4.0	3.9	2.0	2.0	10.0	5.0	99.5	1	
B-3	12	千葉県	千葉県立千葉東高等学校	39.7	10.0	5.0	5.0	5.0	4.0	3.9	3.9	3.9	2.0	2.0	10.0	5.0	99.4	2	
B-5	28	兵庫県	兵庫県立長田高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.9	3.6	3.8	3.9	2.0	2.0	10.0	5.0	99.2	3	
B-5	42	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.8	4.0	3.9	3.9	2.0	1.6	10.0	5.0	99.2	4	
B-1	3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	39.3	10.0	5.0	5.0	5.0	4.0	3.9	4.0	4.0	1.6	2.0	10.0	5.0	98.8	5	
B-6	37	徳島県	徳島県立池田高等学校	40.0	9.8	5.0	5.0	5.0	4.0	3.9	3.5	3.7	1.8	1.8	10.0	5.0	98.5	6	
B-5	33	岡山県	就実高等学校	39.7	10.0	5.0	4.8	5.0	3.4	4.0	3.8	3.9	1.8	2.0	10.0	5.0	98.4	7	
B-6	6	山形県	山形県立山形西高等学校	39.7	10.0	5.0	4.8	5.0	3.6	4.0	3.5	3.8	2.0	1.8	10.0	5.0	98.2	8	
B-4	45	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	40.0	9.7	5.0	5.0	5.0	3.7	3.8	3.7	3.8	2.0	2.0	9.5	5.0	98.2	8	
B-5	46	鹿児島県	鹿児島県立加治木高等学校	40.0	10.0	5.0	4.8	5.0	3.7	3.6	3.4	3.6	2.0	2.0	10.0	5.0	98.1	10	
B-2	34	広島県	ノートルダム清心高等学校	39.3	10.0	5.0	5.0	5.0	3.9	4.0	3.8	3.8	2.0	2.0	9.0	5.0	97.8	11	
B-2	1	北海道	北海道旭川東高等学校	40.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.8	4.0	4.0	3.1	2.0	1.8	10.0	4.0	97.7	12	
B-6	22	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	39.3	10.0	5.0	5.0	4.6	4.0	3.9	3.9	3.9	1.8	1.8	9.5	5.0	97.7	12	
B-3	35	山口県	山口県立防府高等学校	40.0	9.5	5.0	5.0	5.0	3.6	3.8	3.6	3.9	2.0	1.2	10.0	5.0	97.6	14	
B-1	38	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	39.3	10.0	5.0	5.0	5.0	3.7	3.8	4.0	3.7	2.0	1.6	9.5	5.0	97.6	14	
B-3	40	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	40.0	10.0	4.5	4.9	5.0	3.5	3.9	3.8	3.6	1.8	2.0	9.5	5.0	97.5	16	
B-4	10	群馬県	群馬県立高崎女子高等学校	39.7	10.0	4.5	4.9	5.0	3.8	4.0	3.7	3.8	2.0	2.0	9.0	4.0	96.4	17	
B-1	41	佐賀県	佐賀県立唐津東高等学校	40.0	9.7	5.0	5.0	4.6	3.5	3.4	3.6	3.4	1.6	1.6	10.0	5.0	96.4	17	
B-1	36	香川県	香川県立丸亀高等学校	38.2	9.8	5.0	5.0	5.0	3.9	3.4	3.6	3.0	2.0	2.0	9.5	5.0	95.4	19	
B-2	14	神奈川県	神奈川県立麻溝台高等学校	39.7	10.0	4.5	5.0	4.6	3.4	3.5	3.7	3.0	1.8	1.6	9.5	5.0	95.3	20	
B-2	26	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	39.0	10.0	4.0	5.0	5.0	3.3	3.5	3.8	3.7	2.0	1.8	9.0	5.0	95.1	21	
B-2	39	高知県	高知県立高知追手前高等学校	37.5	10.0	5.0	5.0	5.0	3.3	3.9	3.1	3.7	1.8	1.8	10.0	5.0	95.1	21	
B-6	16	新潟県	新潟県立長岡高等学校	39.7	9.7	5.0	5.0	4.6	3.7	3.2	3.4	3.3	2.0	1.4	9.0	5.0	95.0	23	
B-5	50	北海道	北海道旭川北高等学校	40.0	10.0	4.5	5.0	5.0	3.4	3.6	3.6	3.5	1.4	1.4	8.5	5.0	94.9	24	
B-4	5	秋田県	秋田県立秋田高等学校	38.3	10.0	4.5	5.0	4.6	3.9	3.4	3.2	3.6	1.8	1.8	9.5	5.0	94.6	25	
B-3	8	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	37.9	10.0	5.0	4.9	4.6	3.8	3.6	3.7	3.4	1.6	1.4	9.5	5.0	94.4	26	
B-4	17	長野県	長野県松本県ヶ丘高等学校	39.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.6	3.6	3.7	3.0	1.8	1.2	9.0	4.5	94.4	26	
B-4	2	青森県	青森県立八戸高等学校	39.7	10.0	4.5	4.8	5.0	4.0	3.0	3.5	3.3	1.8	1.4	7.0	5.0	93.0	28	
B-6	18	富山県	富山県立富山高等学校	36.7	10.0	5.0	5.0	5.0	3.8	2.5	3.6	3.6	1.8	2.0	8.5	5.0	92.5	29	
B-4	32	島根県	島根県立松江北高等学校	39.7	9.8	5.0	5.0	5.0	2.6	3.1	4.0	3.0	1.6	1.2	7.5	5.0	92.5	29	
B-6	27	大阪府	常翔啓光学園高等学校	37.2	9.8	5.0	5.0	5.0	3.0	3.5	3.2	3.8	1.8	1.4	8.5	5.0	92.2	31	
B-6	44	大分県	大分県立竹田高等学校	38.6	9.8	4.5	5.0	5.0	2.7	2.7	2.8	3.3	1.8	1.2	9.5	5.0	91.9	32	
B-1	30	和歌山県	和歌山県立田辺高等学校	38.6	9.8	4.5	4.6	5.0	3.5	3.0	3.3	2.8	1.6	1.2	8.5	5.0	91.4	33	
B-2	19	石川県	石川県立金沢二水高等学校	40.0	10.0	4.5	4.8	5.0	3.5	3.1	2.7	3.7	1.6	0.6	6.0	5.0	90.5	34	
B-3	20	福井県	福井県立武生高等学校	30.0	9.5	4.0	5.0	5.0	3.5	2.8	4.0	2.7	1.8	1.4	8.0	4.5	82.2	35	
B-3	31	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	30.0	10.0	5.0	5.0	4.6	3.2	3.4	3.9	2.5	1.8	1.0	6.5	5.0	81.9	36	
B-2	7	福島県	福島県立磐城高等学校	28.6	9.7	5.0	4.2	5.0	3.0	2.7	2.7	3.1	2.0	1.2	7.5	5.0	79.7	37	
B-1	25	滋賀県	滋賀県立東大津高等学校	28.6	10.0	3.5	4.7	5.0	3.6	3.9	2.7	2.6	1.4	0.8	7.5	5.0	79.3	38	
B-1	29	奈良県	奈良県立高田高等学校	28.6	9.5	3.0	4.9	5.0	1.6	2.3	3.2	2.9	1.6	1.2	8.5	5.0	77.3	39	
B-1	13	東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	27.0	8.5	3.5	4.5	4.6	3.4	3.2	3.6	2.9	1.8	1.8	7.0	5.0	76.8	40	
B-2	11	埼玉県	埼玉県立和光国際高等学校	30.0	9.5	3.0	3.3	3.8	1.1	2.4	2.6	2.8	0.8	1.0	0.0	5.0	65.3	41	
B-5	15	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	15.0	5.0	3.0	2.5	5.0	2.6	1.3	1.5	2.2	1.2	0.4	3.6	5.0	48.3	42	
B-5	4	宮城県	宮城県仙台三桜高等学校	15.0	5.0	4.0	2.5	4.6	3.5	2.9	3.4	2.8	1.4	0.8	3.5	4.5	53.9		棄権
B-4	23	三重県	三重県立神戸高等学校	0.0	0.0	2.0	2.5	5.0	3.9	3.6	3.7	3.0	1.4	0.0	0.0	5.0	30.1		棄権
B-3	43	熊本県	熊本県立熊本北高等学校	0.0	0.0	1.0	2.3	5.0	3.2	2.5	1.9	3.1	1.4	0.0	0.0	5.0	25.4		棄権

(3) 登山隊の編成

(順不同、敬称略)

役職	氏名	都道府県	所属
登山隊長	内海 健一	北海道	旭川北高等学校
【A隊(団体男子)】			
役職	氏名	都道府県	所属
A隊コース隊長	小池 圭太	北海道	旭川工業高等学校
A隊コース副隊長	山下 宗紀	北海道	旭川商業高等学校
A隊コース先発	大島 一展	北海道	札幌工業高等学校
A隊1班班長	佐々木 亮介	北海道	札幌北高等学校
A隊2班班長	米倉 志高	北海道	旭川医科大学
A隊3班班長	畑野 和宏	北海道	遠軽高等学校
A隊4班班長	蓑口 一哲	北海道	帯広柏葉高等学校
A隊5班班長	塩谷 和樹	北海道	市立函館高等学校
A隊6班班長	二瓶 伸一	新潟県	高体連登山専門部OB
A隊1班副班長	木谷 弥彦	北海道	小樽潮陵高等学校
A隊2班副班長	坂谷内 颯斗	北海道	北海道教育大学岩見沢校
A隊3班副班長	目谷 祐太	北海道	遠軽地区広域組合消防本部
A隊4班副班長	山本 圭一	北海道	帯広農業高等学校
A隊5班副班長	谷山 直俊	北海道	遠軽地区広域組合消防本部
A隊6班副班長	植木 玲一	北海道	有朋高等学校
A隊隊付総務	坂井 励	北海道	北海道大学雨龍研究林
A隊通信	本郷 蒼良	北海道	北海道大学
A隊記録	八島 伊吹	北海道	北海道大学
A隊支援隊長	田中 拓己	北海道	札幌北高等学校
A隊支援副隊長	澤田 大輝	北海道	札幌南高等学校
A隊支援隊	酒井 一明	北海道	札幌南高等学校
	帯川 慎平	北海道	札幌工業高等学校
	田辺 亮輔	北海道	苫小牧高等商業学校
	伊藤 一輝	北海道	苫小牧高等商業学校
	星野 弘樹	北海道	酪農学園大学
	清野 恵多	北海道	酪農学園大学
	村松 俊輔	北海道	帯広柏葉高等学校

A 隊医師	三 浦 裕	愛知県	JMSCA登山医科学委員会（至学館大学）
A 隊看護師	福 島 弓 子	愛知県	JMSCA登山医科学委員会（なごや福祉施設協会）
	濱 本 樹	北海道	札幌北榆病院
A 隊旗手	後 藤 奏 汰	北海道	札幌北高等学校
	高 橋 侑 希	北海道	札幌北高等学校
	川 島 優 仁	北海道	札幌北高等学校
	北 村 航 大	北海道	札幌北高等学校
A 隊監督対応	今 井 一 穂	北海道	利尻高等学校

【B 隊（団体女子）】

役職	氏名	都道府県	所属
B 隊コース隊長	飯 田 一 三	北海道	旭川東高等学校
B 隊コース副隊長	板 垣 教 一	北海道	江別高等学校
B 隊コース先発	牛久保 琢 哉	北海道	旭川永嶺高等学校
B 隊 1 班班長	細 野 瑛	北海道	旭川医科大学病院
B 隊 2 班班長	三 戸 涉	北海道	室蘭栄高等学校
B 隊 3 班班長	松 本 奈 巳	北海道	札幌北高等学校
B 隊 4 班班長	竹 中 正 喜	北海道	釧路商業高等学校
B 隊 5 班班長	鈴 木 容佳子	北海道	江別高等学校
B 隊 6 班班長	西 千 秋	北海道	高体連登山専門部OB
B 隊 1 班副班長	齊 藤 風 香	北海道	美瑛町役場
B 隊 2 班副班長	日 向 真 樹	北海道	室蘭栄高等学校
B 隊 3 班副班長	丹 野 裕 之	北海道	旭川西高等学校
B 隊 4 班副班長	鈴 木 伶 那	北海道	酪農学園大学
B 隊 5 班副班長	合 浦 みのり	北海道	(株)アインホールディングス
B 隊 6 班副班長	葛 西 春 嬉	北海道	藤女子大学
B 隊隊付総務	中 條 恵	北海道	旭川東高等学校
B 隊通信	業 天 眞由美	北海道	富良野緑峰高等学校
B 隊記録	田 中 雅 人	北海道	孝仁会記念病院
B 隊支援隊長	山 下 文 孝	北海道	高体連登山専門部OB
B 隊支援副隊長	佐々木 隆 光	北海道	帯広柏葉高等学校

B隊支援隊	岩 橋 一 成	北海道	北星学園女子中学高等学校
	Couture Alexander	北海道	北星学園女子中学高等学校
	高 井 勝 巳	北海道	高体連登山専門部OB
	柴 田 一	北海道	室蘭栄高等学校
	江 頭 ひかる	北海道	帯広畜産大学
	佐 藤 慶 典	北海道	北海道農業共済組合
	木 藤 優太郎	北海道	酪農学園大学
	町 井 束香沙	北海道	旭川市消防本部
B 隊医師	中 島 隆 之	岩手県	JMSCA登山医科学委員会（盛岡友愛病院）
B 隊看護師	浦 川 陽 子	愛知県	JMSCA登山医科学委員会（光生会病院）
	臼 井 香 澄	北海道	さっぽろ銀杏会記念病院
B隊旗手	後 藤 かの子	北海道	札幌北高等学校
	工 藤 妃 由	北海道	札幌北高等学校
	木 下 倅 華	北海道	札幌北高等学校
	宇 崎 なごみ	北海道	札幌北高等学校
B隊監督対応	川 名 典 道	北海道	高体連登山専門部OB

【通信隊】

役職	氏名	都道府県	所属
通信隊長	及 川 研一郎	北海道	旭川北高等学校
通信副隊長・記録	林 保 彦	北海道	八雲高等学校

【チェックポイント CP 隊（兼通信隊）】

役職	氏名	都道府県	所属
CP隊長	漆 山 裕 章	北海道	旭川西高等学校
CP副隊長	玉 森 一	北海道	釧路湖陵高等学校
CP隊(兼通信隊)	今 啓 輔	北海道	釧路北陽高等学校
CP隊(兼通信隊)	川 口 翼	北海道	根室高等学校
CP隊(兼通信隊)	大 川 智 史	北海道	根室高等学校
CP隊(兼通信隊)	岡 本 祥 一	北海道	美瑛町役場
CP隊(兼通信隊)	丸 山 大 堯	北海道	北海道科学大学
CP隊(兼通信隊)	杉 山 透 来	北海道	釧路湖陵高等学校OB
CP隊(兼通信隊)	桐 尾 義 之	北海道	高体連登山専門部OB
CP隊(兼通信隊)	上 内 智 英	北海道	釧路湖陵高等学校
CP隊(兼通信隊)	金 森 雅 弥	北海道	八雲高等学校

【サポート隊】

役職	氏名	都道府県	所属
サポート隊長	城 座 研 一	北海道	富良野緑峰高等学校
サポート副隊長	瓶 田 幸 宏	北海道	富良野緑峰高等学校
サポート隊	関 村 康 則	北海道	士別翔雲高等学校

【設営隊】

役職	氏名	都道府県	所属
設営隊長	藤 本 和 夫	北海道	岩見沢東高等学校
設営副隊長	水 野 秀 人	北海道	帯広大谷高等学校
設営隊	梅 川 悟 史	北海道	岩見沢東高等学校
設営隊	中新井 尊	北海道	北見北斗高等学校
設営隊	林 宏 司	北海道	高体連登山専門部OB
設営隊	水 野 憲 雄	北海道	高体連登山専門部OB
設営隊	稲 津 雄 二	北海道	釧路北陽高等学校
設営隊	菅 原 麻里子	北海道	北広島高等学校
設営隊	小 野 泰 章	北海道	北見北斗高等学校
幕営地看護師	小 野 静 香	北海道	訪問看護ステーションめぐみ

【専門委員長隊】

専門委員長対応	永 木 正 彦	北海道	帯広三条高等学校
専門委員長対応	日 下 哉	北海道	NPO北海道自然エネルギー研究会

【自衛隊協力隊】

【運営役員】

役職	氏名	都道府県	所属
総務委員長	細野 護	北海道	旭川北高等学校
総務副委員長	石丸 高志	北海道	旭川西高等学校
総務副委員長	高橋 健一	北海道	旭川東高等学校
総務委員	今野 裕太	北海道	東川町教育委員会
総務委員	渡辺 翔太	北海道	東川町教育委員会
総務委員	片岡 仁	北海道	上川町教育委員会
総務委員	梶原 祐治	北海道	美瑛町教育委員会
総務委員	谷口 裕二	北海道	上富良野町教育委員会
総務委員(式典)	伊與田 浩紀	北海道	旭川東高等学校
総務委員(式典)	堀江 昌昭	北海道	旭川東高等学校
総務委員(受付)	千葉 雄次	北海道	旭川東高等学校
総務委員(受付)	白田 裕基	北海道	旭川東高等学校
総務委員(式典)	菊田 茜	北海道	旭川東高等学校
総務委員(式典)	渡辺 瑞恵	北海道	旭川東高等学校
総務委員(会場・記録)	須藤 裕昭	北海道	旭川北高等学校
総務委員(会場・記録)	本田 晴樹	北海道	旭川北高等学校
総務委員(輸送)	日野 秀一	北海道	旭川工業高等学校
総務委員(輸送)	白戸 愁真	北海道	旭川工業高等学校
総務委員(輸送・筆耕)	黒川 朋寛	北海道	旭川工業高等学校
総務委員(輸送)	佐久間 悠子	北海道	旭川工業高等学校
総務委員(本部)	齋藤 和彦	北海道	東川高等学校
総務委員(本部)	藤島 由紀	北海道	東川高等学校
総務委員(宿泊・弁当)	阪本 さおり	北海道	旭川西高等学校
総務委員(宿泊・弁当)	山本 一葉	北海道	旭川西高等学校
総務委員(式典救護)	宮澤 紀久子	北海道	旭川東高等学校

24. 登山大会を終えて

登山隊長 内海 健一
(北海道旭川北高等学校)

1 はじめに

4年ぶりに幕営、調理など一式がそろった登山大会を計画し、アポローチまでの移動距離は長いものの、早朝起床で時間をクリアして、天上の樂園へ、そんな正常性バイアスの元で作り上げてきた計画は、大雪山系十勝岳連峰の神々によって一蹴された気がした。強く降る雨、北海道とは思えない高温多湿、『荒天対策』をとっていながらも、刻々と大きく変わる気象条件に翻弄され、対応が十分にできなかったのは、登山隊長として、忸怩たる思いがあった。それでも大会自体が最後まで行われたのは、道内道外の役員の方々のおかげによるものが非常に大きかった。道内各地、日本各地からお集まりいただき、大会を支えていただいた役員の方々に心からお礼を述べたい。

2 大会地の選定

令和元年に専門委員長になったあたりから、今年のインターハイの構想が始まった。道内顧問の諸先輩方からは、「前回インターハイは国体の関係でニセコと羊蹄山になった、次は大雪で」という声をよく聞くようになった。北海道内の山で、北海道らしい登山ができる山はいくつもあるが、選手役員の宿泊地、幕営地、アポローチなどを考えると日高山脈や知床、利尻とはならず大雪山系が最もよいのではないかと思われた。



一口に大雪山系といっても広大で、たくさんの選手が登山できる環境を考えると、旭岳、黒岳、白雲岳、十勝岳を候補として考えた。

今回大会ルートとして使用した、上ホロ十勝岳縦走ルート、黒岳旭岳裾合平縦走ルート、旭岳ルートの他に、最終的には第2回安全対策会議のある大会1ヶ月前までに十勝岳の火山噴火レベルが現状の1から上がることがあれば変更するということで、銀泉台赤岳白雲コースを設定していた。大会前のごたごたで銀泉台赤岳白雲岳ルートを持つ上川町に十分説明ができておらず、実際にはルート変更は難しい状況にあった。火山噴火レベルも変わらず、銀泉台赤岳白雲岳ルートはお蔵入りとなった。



3 開催地への出向

今回の大会は、当初幕営地のある東川町に協力を要請し、開催地としてご協力いただく予定であった。ただし、東川町も『写真甲子園』などの行事をたくさん持っており、多忙を極めていた。大雪山系、十勝岳連峰を取り巻く4町(東川町、上川町、美瑛町、上富良野町)で協力してはどうかと、町の



方々からの発信が有り、4町での体制が始まりそうになったが、距離が離れている中でどんな協力が求められるのか、町の職員も多忙の中で人員を割かなければならないのかなど、実際に動くにはクリアしていく壁が多く、まとまらないまま4町にご協力はいただくまでも、主になるのは北海道実行委員会という形ができあがった。このとき、内海は東川町へ出向していたが、収まりの悪い状態で、業務を進めていくことになった。



4 幕営地の課題

今回の幕営地である東川町民運動公園グラウンドは2つめの候補地であった。当初、美瑛町の国設白金野営場と国立大雪青少年交流の家をベースにする案を立てていたが、十勝岳の火山噴火レベルの関係で美瑛町の方から、噴火レベルが上がったときの代替がきかないので避けた方がよいというお話を受け、東川町のグラウンドに落ち着いた。南東北や宮崎の大会での幕営地は、グラウンドの方が不公平感がないと聞いていた。水資源が豊富な東川町なので、給水等も問題がないであろうと考えていた。実際には、東川町の各家庭の上水はすべて地下水であるが、公共の学校や海洋センターなどたくさん人間が入り出るところでは塩素殺菌が必要なこと、400~500人が一斉

に使う水圧を考えると、水圧を上げるためのポンプを設置しなければならないことなど、想定外の事態が表面化した。ポンプの設置工事は200万の見積もりが出され、キャンプ場の水問題は頓挫した。



このとき、南東北大会の蔵王でのキャンプ場で見つかった自衛隊の水タンクを思い出し、自衛隊への協力要請をお願いすることにした。災害等に備える設備でもあるため、そのようなことがない場合に使用させていただくことになり、旭川市水道局から直接水をくませていただけるようにもなり、ほっと胸をなで下ろした。「タンクからの自然流下で水圧も大丈夫であろう」という、業者さんとの打ち合わせも有り心配していなかったが、本番では小型の水タンクが配属されたことで、全くシンクに水が流れず、給水車から水をくんで、シンクで使うという不自然な形の状況になってしまった。



また、晴天が当初続いていた東川町では、グラウンドが硬くなり、ペグが折れるような状況がプレ大会も含めて続いていた。何とか水をまいて、グラ

ウンド条件をよくしたい、ほこり対策もしたいということ
ことで300m分のホースを用意していただいたが、
今回の大雨、すべて、徒労に終わった。

5 予算の作成

北海道からの要請を受け、先催県の資料を頼りに、
予算を作成した。実際には細かい消耗品系の
リストにおいて不明点も多く、道担当者からの追求
に苦慮した。それでも、大きな契約が必要な仮設ト
イレ、シンク、OA 機器、スポットクーラーなどの物
品は見積もりをとっての予算規模、必要性の説明
を行ったことで、風通しがよくなった気がした。医療
消耗品は医師、看護師の方との連携が必須で、特
に一般消耗品として購入できるものは早めにピッ
クアップできているとありがたい。

6 医師看護師の件

JMSCA の三浦先生、中島先生、浦川さん、福
島さんを中心に構成させていただくよう打ち合わせ
を続けた。内海自体も旭川市はじめ周辺の医師会
に足を運び、地元の医大にも働きかけをしたが、
色よい返事は得られず、三浦先生と総合病院にも
協力要請を行ったがうまくいかなかった。大会本部
がある東川町の町立診療所にも何度か足を運び、
現状を訴えたが、なかなか門戸は開かなかった。
大会直前の6月に行われた、第2回安全対策会議
の折、再度医師看護師の方とそろって東川町立病
院を訪れ、協力の申し入れを行った。その際、三
浦先生を臨時医師として受け入れていただき、医
薬品の提供もしていただけるというお話を受け、一
気に問題が解決した。札幌から2名の帯同看護師、
地元から1名の幕営地看護師、山岳部顧問でもあ
る養護教諭が幕営地付きになっていただけること
で、医療班の体制が整った。

今考えれば、この体制ができあがらなければ、
熱中症と感染症でごった返した、救護室、大会中
の救護体制が維持できなかったと思い、皆さんに
は深く深く感謝している。



7 大会中の登山隊長と行動隊

昨年も、四国の大会で登山隊長の役割を見てき
たつもりであったが、全く頭に入っていなかった。
中央総務会議の内容がぼやっとしか理解されてお
らず、救護記録の連動や詳細の仕事について、全
く先回りできず、西村先生や石田先生頼みの業務
になってしまい、非常に申し訳なかった。無線での
連絡でいろいろ動いていただけの地元の人員が不
足していたこと、内海が様々な場面を想定し、ケー
スタディをまわりと共有していなかったことなどが
実際の大会に影を落とし、深く反省した。

行動隊は隊長さんを中心として、支援隊、医療
隊が連携して動いており、とても頼もしかった。自
分が把握し切れていなかったところをすべてカバ
ーしていただいた。



8 自衛隊の方々の協力と大会形式

今回の大会の3日目では、登山口～姿見の池
までのチーム行動が終わった後や、その前後で行
動離脱が目立ち、脱水や熱中症での担ぎ搬送が
複数起こってしまった。自衛隊の方々には、緊急

時の対応とはいえ、深く感謝したい。大会運営をする側としては、B隊隊長のサブ行動変更の英断のように、前日からの寝不足、急激な高温、疲労の蓄積を考えると最終日はサブ行動にするという選択肢もあったのではないかと今反省している。全国大会ではあっても、たくさんの選手が、楽しく安全に登山ができるのがベースだとすれば、体力差が出にくくても、選手の体調に即した大会運営が必要であったと考える。しばらく行われていなかったテント泊や気候の状態で大大会形式を変更できる体制が必要なのかもしれない。



9 第5類への変更と感染症対策

今回、大会直前に1校、大会初日に2校のコロナウイルス感染症陽性が出たため、医師からは大会そのものの継続を含めて、様子を見るために翌日の行動を中止したらどうかという提案もいただいたが、中央総務との相談の中で、内部での感染ではない感染が表面化したと考えられることから、天候の悪化を鑑み、サブ行動で上富良野岳または上ホロカメツク山ピストンという判断をした。

大会最終日までトータルでA隊 4 名B隊 4 名B監督 1 名役員 1 名計 10 名のコロナウイルス感染症陽性者が出て、A、B隊のべ 7 校が出場辞退または棄権となった。大会後、全国的にコロナ感染症の患者は増加傾向のようなので、今後もこの傾向は続くと考えられ、医師との連携の元、感染症の検査キットが必要になると思われる。(今回は東川町のものを多数お借りした)



10 結びに

令和 5 年度全国高等学校総合体育大会登山大会第 67 回全国高等学校登山大会は、たくさんの方々の献身的なご協力で、何とかゴールにたどり着いた。4 年ぶりであるフル開催に向けて準備を進めてきたが、感染症と荒天によるルート短縮や大雨による体育館避難、幕営地の高温多湿による体調不良者の続出、熱中症・脱水症状者の続出、本部から 1 回、競技場所から 3 回の救急搬送、体調不良による低体温処置、高温による解団式場変更等々、バラエティーに富んだ対応が迫られる大会となった。登山隊長としては、天候も含め、しっくりいかない大会になってしまったが、選手の皆さんの感想を読ませていただくと、北海道の自然に触れられたこと、大会ルートを踏破する中で、協力しチームの絆が深まったこと、全国の他のチームとの交流を通して刺激を受けたことが綴られており、高校生の選手たちにとっては、学ぶことができる部



分もあったのだなと思い、正直ほっとしたところで

あった。

大会中は全国高等学校体育連盟登山専門部長の本多滋明先生をはじめ、中央総務の先生方、審査員の先生方、運営役員の先生方、行動役員の先生方、補助生徒の皆さん、そして、全国から北海道へ足を運んでいただいた、監督選手の皆さんに支えられた。日本最北の地北海道でのインターハイが36年ぶりに行うことができたことに、すべてに皆さんに感謝を申し上げる。

